



新年のごあいさつ



担当理事 牛尾剛士

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、すこやかに新春をお迎えのことと存じます。

本年は2年に1回の診療報酬点数改定があり、更にはTPPの問題等、我々を取り巻く医療環境は非常に厳しい状況でございます。臨床検査センターにおきましても厳しい運営となりますが、一層のコストの削減を行い、ご利用いただいております先生方には、引き続き利用額に応じた還元と利益がでた場合には検査料の引き下げを実施してまいります。

また、昨年タンデムマス法を用いた新生児マス・スクリーニング検査の導入を積極的に検討されたい旨の厚生労働省通達が、都道府県ならびに政令指定都市に対し発せられましたが、臨床検査センターにおきましてもその受け皿になる必要性和重要性に鑑み、タンデムマスの検査機器を導入し、本年10月の稼働に向け準備を進めているところでございます。

その他、会員の先生方に向けた感染症情報等のインフォメーションの発行をはじめ、安芸市民病院の感染管理認定看護師の協力も頂いての医療安全・院内感染対策の勉強会や研修会を実施しております。引き続き精度を充実させ、積極的に取り組んでまいります。

所内におきましては、医療安全の取り組みの一環として、リスクマネジメント活動での対応レベルの向上、あるいは検査管理課を中心とした検査の品質保証の強化と検査コストの低減化を、継続して努力してまいり所存でございます。また、管理職をはじめとした全職員のスキルアップを図るための教育・研修を行ってまいります。

本年も、会員の先生方からのご意見やご要望等を真摯に受け止め、一層の精度管理の向上及びサービスの充実に励み、更に信頼いただける臨床検査センターを目指して、役職員一同、誠心誠意努める所存でございますので、何なりとお申し付け頂きたいと存じます。

何卒、お引き立ていただきますよう、よろしく願い申し上げます。